

Let's enjoy アウトドア

グランピングを気持ち良く楽しむために
守ろう! ルールやマナー!



楽しみ方がたくさんあるグランピングですが、だからこそ気を付けなければ
いけないルールやマナーがあります。注意してしっかり守りましょう!!

焚火は直火NG! 焚火台を使おう!

焚火はアウトドアの醍醐味のひとつでもあります。しかし、一歩ルールを間違えれば大惨事となってしまいます。以前は直火で行ってもよいとされていましたが、最近は芝生のグランピング場も増えており、直火では燃え移ってしまいます。必ず施設に用意されている焚火台を使うようにしましょう。返却する際も、灰の汚れなどは落とし、次の人が使用することを考えて丁寧に扱うことも忘れず!!



花火は後始末まで必ずやろう!

夏場に盛り上がる花火。やりたい気持ちは分かりますが、必ず後始末することを忘れないように! 最近ではゴミをそのまま放置し、自然豊かなキャンプ場や、ひどいときには海の中で発見されるというケースもあります。アクティビティの基本は自然の豊かさです。そのバランスを崩す行為は絶対にNGです。



ギターやカラオケなどはNG!

場所にもよりますが、大きな音の出るものを使用するのは禁止されているか、夜22時以降は控えるように注意喚起されている施設が多いです。貸切の場合は別ですが、一緒に施設を利用している方の中には、大きな音が苦手な人や、早く寝たいという人もいるかもしれません。全員が気持ちよく1日を過ごせるよう最低限の配慮は忘れないようにしましょう。



ペット可の施設は事前に ルールの確認を!

ペットも一緒に楽しめることで人気のグランピング施設ですが、そこには必ず注意喚起されている施設のルールがあります。特にペットは、ほかの利用者の迷惑になってしまうケースもあるため、施設ごとのルールはしっかり確認しておきましょう。



ドローンの撮影は 事前の許可を必ず取ろう!

最近流行中のドローン撮影ですが、墜落した際に思わぬ事故につながったり、自然環境を考慮しての理由から、施設内での利用をNGとしている場所もあります。撮影する前に必ず施設の確認を取ること、NGであれば絶対に飛ばさないことを徹底してください。



POINT!!



必要なものはレンタルできる、施設になんでも揃っているという点が快適なグランピングを生み出しているひとつのメリットです。しかし、それらには必ずマナーやルールが存在し、ひとりが破ってしまえば、施設を今後継続できない可能性もあります。グランピング施設は利用する人たち全員のもので、そういった意識を忘れず、利用前のルールやマナーの確認を必ず行い、思う存分楽しみましょう!!